

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 助川中学校体育館

【男子の部】 第1日目 Jコート 第3試合

チームA 湘南工科大学附属 神奈川	78	{ <table border="0"> <tr><td>13</td><td>1Q</td><td>15</td></tr> <tr><td>18</td><td>2Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>24</td><td>3Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>23</td><td>4Q</td><td>21</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table> }	13	1Q	15	18	2Q	18	24	3Q	14	23	4Q	21		OT		68	チームB 金沢市立工業 石川
13	1Q	15																	
18	2Q	18																	
24	3Q	14																	
23	4Q	21																	
	OT																		

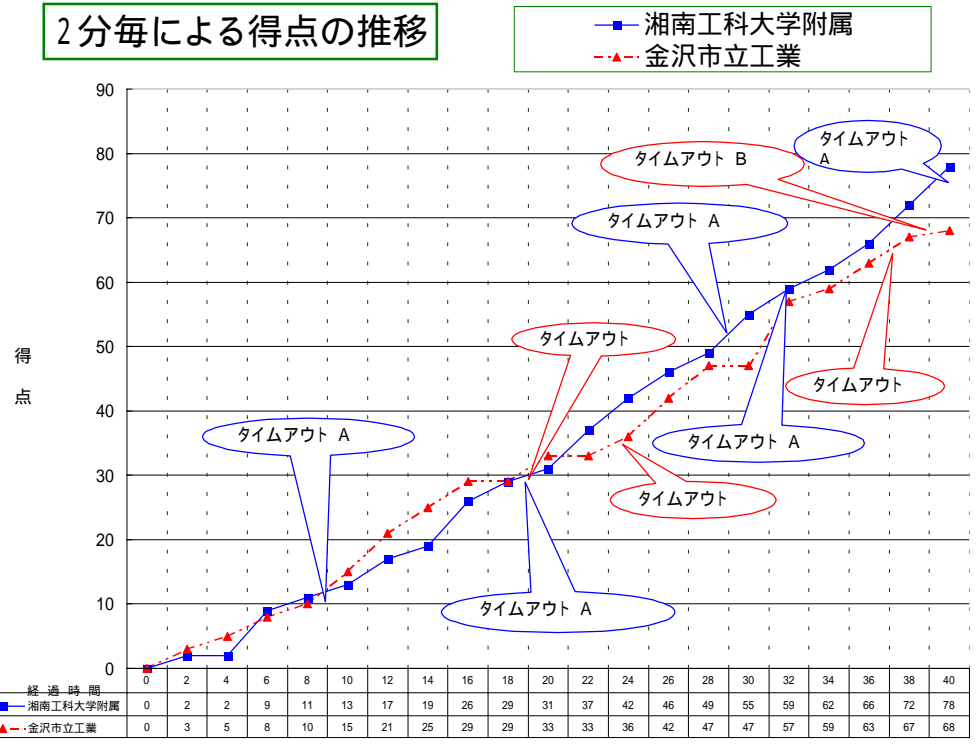
湘南工科大学附属

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤 利朗	26	2	7	10	12	0	0	1	2	5	4	6	5	2	35
5	岩田 圭史	21	1	2	8	16	2	4	4	5	3	4	2	3	9	40
6	鈴木 秀三	4	0	0	1	7	2	3	2	1	2	1	1	0	1	20
7	荒川 武志	7	0	4	3	12	1	3	1	0	0	1	1	2	0	35
8	千葉 直輝	8	0	3	4	10	0	0	4	1	1	1	2	3	3	33
9	藤居 将太	2	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	4	2	0	16
10	白井真佐志	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	秋澤 雄三	8	0	0	4	7	0	0	4	3	2	3	1	0	0	20
12	寺嶋 唯															DNP
13	篠田 順															DNP
14	福井 大智															DNP
15	神沢 健太															DNP
コーチ	川原 智								0							
		78	3	16	32	67	5	10	17	13	13	14	17	15	15	200
		確率	18.8%		47.8%		50.0%									

金沢市立工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	宮元 衛	12	1	9	3	14	3	6	1	1	0	6	6	3	0	40
5	坂市 真吾	20	1	3	8	14	1	2	3	3	6	5	4	0	2	40
6	村田 樹哉	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2	2
7	小林 賢士	7	1	1	2	3	0	0	2	0	3	2	1	0	0	15
8	新保 喬也	16	2	4	5	12	0	0	0	1	2	2	2	0	1	30
9	米田 博之															DNP
10	馬場 信治															DNP
11	坂口 景彦															DNP
12	戸田 好彦															DNP
13	土居下 剛	2	0	0	1	4	0	0	1	0	1	4	2	1	0	17
14	中村 精	4	0	0	2	3	0	0	5	1	0	0	2	1	0	16
15	宮村 徹	7	0	0	3	9	1	2	3	2	2	1	0	0	2	40
コーチ	越後 隆光								0							
		68	5	17	24	60	5	10	15	9	16	20	17	5	7	200
		確率	29.4%		40.0%		50.0%									

2分毎による得点の推移



戦評

湘南工大大附はマンツーマン、金沢市立工は2 - 3ゾーンディフェンスでゲーム開始。どちらも190cmのセンターを擁するチームである。第1Pはそのお互いのセンターの潰し合いで得点が伸びず、金沢が1ゴールリードで終る。

第2Pは外角の打ち合いと、特に金沢がゾーンからのスティールで速攻を決め、最大6点差をつけるが、湘南も#11秋澤のセンタープレイ、#8千葉の速攻で対応し全くの互角で終る。

明暗を分けたのは第3Pである。湘南が開始2分で逆転したが、その後も#5岩田、#6鈴木のハイローアタックのフォーメーションで、ハイ岩田に全てパスが通ってしまい、たて続けにシュートを決めて、5ゴール差になる。金沢はタイムアウトをとり、オールコートのゾーンプレスをしかけて挽回をはかるが点差が縮まらず、結局第4Pも、お互いに23点、21点を取り合って終った。金沢の#5坂市もアウトサイド、インサイド両方こなせるセンターで、十分に湘南を苦しめた。

主審 山崎 人志

副審 渡部 智聡

記入者 鈴木 孝